

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間学		選択	1	1.2	前期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏 他	C304	yasuhiro_yamamoto	水曜日 9:00~10:30		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉社会は人と人のつながりで成立している。他者と良好な関係を築き、高等教育を受けた善良な社会人として生活するためには人間について深く考える必要がある。本科目の目的は以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間存在をさまざまな視座から考究し、その特質を立体的に把握すること。 2) それにより将来善良な社会の一員となれるよう、柔軟な人生観を身に付けること。 3) 医療・福祉の基本的構造が人間と人間の関わりであることを理解し、実務に応用できること。 <p>〈概要〉上記の目的を達成すべく、前半4回は教養ある人間としての一般的人間論を学習し、後半4回は前半4回の内容が社会生活に具体的にどのように関わるのか学習する。授業は Teams を用いた同時双方向型遠隔授業で行う。</p>				
学習上の助言	教科書を指定していないので、授業の中で十分に消化すること。そのため、不明な点は積極的に質問すること。				
教科書	教科書は指定しない				
参考書	必要に応じ、授業中に随時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	これまでの主要な人類学・人間学における人間観を説明できる。			HSU(1)(2)	
②	人間存在の基本を体系的に説明できる。			HSU(2)(5)	
③	人間存在を巡る現在進行形の諸論点を学び、今後の方向性を試考展望できる。			HSU(4)(6)	
④	医療・福祉の視点から人間観を説明できる。			HSU(1)(2)(4)(5)(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション： なぜ人間学を学ぶのか、共に考える。 [担当：山本、松崎]	講義 (同時 双方向型授 業)	人間の定義を復習する。	3.5	
2	人間学の概要を学ぶ： これまでの主要な人類学・人間学の概要を学ぶ。 [担当：松崎、山本]	講義 (同時 双方向型授 業)	配布課題を調考記述し提出する。	3.5	
3	自然の展開を学ぶ： 大自然は「物質・生命・人間」という三推転をしてきた。その様相を改めて論理体系的に考察する。 [担当：松崎、山本]	講義 (同時 双方向型授 業)	配布課題を調考記述し提出する。	3.5	
4	人類の展開を学ぶ： 人間は時空間的に「南洋発前代・西洋発近代」と推転してきたし、今後も新たな推転を示すであろう。人間の来し方行く末を論理体系的に考察する。 [担当：松崎、山本]	講義 (同時 双方向型授 業)	配布課題を調考記述し提出する。	3.5	
5	現在係争中の人間的諸問題を学ぶ： 応用倫理的諸問題を概観し、今後のあるべき人間観を試考展望する。特に、AI を筆頭とした科学技術が人間の未来存在といかなる関係を切り結ぶかを考察する。 [担当：松崎、山本]	講義 (同時 双方向型授 業)	配布課題を調考記述し提出する。	3.5	
6	医療者と患者の関係を学ぶ： 同じ人間でありながら医療者と患者は立場が違う。何がどのように違うのか考察する。 [担当：山本、松崎]	講義 (同時 双方向型授 業)	医療の原型を復習する。	3.5	
7	自己決定権を学ぶ： 現代医療では「自己決定権」が重視されている。「自己決定権」という意識がどのように成立したのか考察する。 [担当：山本、松崎]	講義 (同時 双方向型授 業)	自己決定権意識が発生した歴史を復習する。	3.5	
8	まとめ： これまで7回の授業内容を統合し、社会の中での人間の在り方を考察する。 [担当：山本、松崎]	講義 (同時 双方向型授 業)	第1回から7回の授業内容を復習し、期末レポートを作成する。	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

試	レポート						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	0	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	6	0	0	0	6
	思考・推論・創造する力	0	6	0	0	10	16
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	36	0	0	10	46
	コミュニケーション力	0	6	0	0	0	6
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	6	0	0	10	16
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	基礎演習 I で学習したレポート作成方法に従ってレポートを作成する。テーマ、採点基準等の詳細は授業の中で説明する。				レポートを返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。 採点基準の詳細は授業の中で説明する。				Comment を付け返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎山本泰宏（責任者：第 1 回、第 6～8 回）、松崎昇（第 2～5 回、第 8 回）</p> <p>1 Teams を利用した同時双方向遠隔授業を行う。</p> <p>2 Power Point 視聴・同時双方向行為等があるので、通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>3 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によっては授業内容・シラバスの変更もありうる。 その場合には事前に告知する。</p> <p>実践的授業の内容：学習内容を机上の空論とせず、実生活にどのように関連しているのか具体的に考察する。</p>							